

評価対象	今年度の方策	今年度の具体的数値目標	成果と課題 (1回目との比較)	3学期の主な改善策
I 保護者等との連携	<p>○学校、学年、学級通信の発行や、ホームページの更新及びスクールメールアシストの活用等を通して、タイムリーな情報を提供する。</p> <p>○保護者会・懇談会・電話連絡や家庭訪問を通して、保護者の気持ちや意向をくみ取り、誠実に対応する。</p>	<p>○学校や生徒の様子が分かると感じている保護者が80%以上。</p> <p>○学校は連絡や相談がしやすいと感じている保護者が80%以上。</p>	<p>○学校や生徒の様子がよく分かると思った保護者は83% (-2pt)</p> <p>●学校は連絡や相談がしやすいと感じている保護者は76% (+2pt)</p>	<p>○学年通信やWebページ、スクールメールアシストでの情報提供の他、行事や部活動の大会結果などホームページにアップしていきます。また、学校からのたよりは、必ず保護者に見せるように伝えます。</p> <p>○電話や保護者会などで積極的に話しかけたり、事務連絡だけでなく最近の様子を情報交換したりすることを通して、保護者との信頼関係を深めます。</p>
II 確かな学力	<p>○伸ばしたい資質・能力を明確にし、やりがいのある魅力的な学習課題の設定とねらいに沿った振り返りを実施する。</p> <p>○自主学習ノートの継続的な確認と支援や、「学方向上通信」の定期的な発行を通し、家庭学習の量的質的充実を図る。</p>	<p>○授業が分かると感じている生徒が80%以上。</p> <p>○授業が楽しいと感じている生徒が80%以上。</p> <p>○1日あたりの家庭学習(塾等を含める)の時間が、1時間以上である生徒が80%以上。</p>	<p>○授業が分かると感じている生徒は86% (-2pt)</p> <p>●授業が楽しいと感じている生徒は72% (-4pt)</p> <p>○1日あたりの家庭学習(塾等を含める)の時間が、1時間以上である生徒は82% (-2pt)</p> <p>保護者は77% (+5pt)</p>	<p>○教師一人一人が自分の授業をあらためて見直し、やりがいのある魅力的な学習課題の設定や、ねらいに沿った振り返りを実施するなど、生徒が達成感や満足感を感じることができる授業づくりをさらに推進していきます。</p> <p>○「学方向上通信」による学習意欲の喚起及び学習習慣を確立するため、自主学習ノートへの励ましと助言を継続するとともに、より効果的な自主学習のあり方を検討していきます。</p>
III 豊かな心	<p>○学活や道徳等において、あいさつの意義や大切さを考える機会を与え、さわやかなあいさつを生徒自身からできるよう働きかける。教師が生徒の模範となるあいさつをする。校内でのあいさつ運動、小中連携の合同あいさつ運動を行い、あいさつの推進をしていく。</p> <p>○日頃から生徒一人一人と向き合い、長所を褒めて伸ばしていく。学校行事では、生徒全員で1つのことをやり遂げる楽しさを実感できるような企画・運営を行う。</p> <p>○生活アンケートや細かな生徒の観察を通して、いじめ防止に努め、いじめ問題が起きたときにはいじめ防止対策委員会を中心に迅速な対応をする。</p> <p>○教師による継続的な呼びかけ、校内におけるポスターの掲示、保護者会、ノーメディアデーを実施する。警察と連携して非行防止教室や情報モラル講習会を実施する。</p> <p>○生徒一人一人が活躍できる場を設定し、部活動では、異学年の交流を通して、自己有用感を育む。</p>	<p>○自分から進んでしっかりとしたあいさつができる生徒が80%以上。</p> <p>○学校生活が楽しいと感じている生徒が80%以上。</p> <p>○学校のいじめへの対応や対策が十分であると思う生徒・保護者が80%以上。</p> <p>○ケータイ、スマホ、ゲーム機等を午後9時以降使っていない生徒が80%以上。</p> <p>○学校生活において自己有用感をもっている生徒が80%以上。</p>	<p>○自分から進んでしっかりとしたあいさつができる生徒は86% (-1pt)</p> <p>●学校生活が楽しいと感じている生徒は76% (-2pt)</p> <p>●学校のいじめへの対応や対策が十分であると思う生徒は72% (-3pt)</p> <p>保護者は62% (-1pt)</p> <p>●ケータイ、スマホ、ゲーム機等を午後9時以降使っていない生徒は38% (-6pt)</p> <p>生徒が使っていないと答えた保護者38% (-8pt)</p> <p>●学校生活において自己有用感をもっている生徒は51% (-4pt)</p>	<p>○道徳や学活、総合的な学習の時間、学校行事等を通して、あいさつの意義を生徒に考えさせる場面を設定し、あいさつの大切さを引き続き伝えていきます。部活動においても、活動を通して、あいさつの意義や大切さを考える場を設定します。</p> <p>○2学期は生徒集会で異学年交流を実施し、笑顔が多く見られました。3学期も生徒集会を行い、笑顔溢れる活動を計画していきます。</p> <p>○いじめを認知したら、迅速に事情を確認し、適切に複数の教員での指導を行います。保護者や関係機関との連携も行い、いじめ撲滅に努めます。</p> <p>○午後9時以降にケータイ、スマホ、ゲーム機等を使用している理由を生徒に聞き、実態を把握し改善策を考え、手立てを講じていく計画です。また、学校通信を通して、保護者の協力も得ながら、改善を図ります。</p> <p>○生徒主体の活動を行い、生徒一人一人に応じた指導を実施し、励ましたり、勇気づけたり、褒めたりする指導をします。</p>
IV 活動の意欲	<p>○学活や休み時間等を使い、行事に向けての練習を重ね、その中で学級の絆を深め、積極的に参加できるようにする。部活動では、目標や方針を明確にして取り組むようにする。</p> <p>○学活・道徳・総合の時間を使って、清掃やボランティア活動の意義について考える機会を設ける。生徒会本部主催によるボランティア活動を実施し、参加を呼びかける。</p>	<p>○行事(JO,合唱コンクール等)や部活動に積極的かつ向上心をもって参加している生徒が80%以上。</p> <p>○清掃やボランティア活動に友達と協力して進んで取り組んでいる生徒が80%以上。</p>	<p>○行事(JO,合唱コンクール等)や部活動に積極的かつ向上心をもって参加している生徒は92% (+4pt)</p> <p>○進んで清掃に取り組んでいる生徒は90% (-1pt)</p> <p>●進んでボランティア活動に取り組んでいる生徒は78% (-3pt)</p>	<p>○学活や休み時間を使って、行事や部活動の目標を話し合わせることで、向上心をもって参加できるようにしていきます。</p> <p>○学活や道徳、総合的な学習の時間でボランティアの意義や自分たちができる活動を考える時間を設けた。自主的にボランティアに取り組めていない生徒もいることから、活動の意義について話したり、考えさせたりする時間を設けていきます。</p>
V 健康・体力	<p>○日常の生活指導や掲示物を通して、朝食を摂ることの大切さを生徒に伝えていくとともに、保健だよりや学校保健委員会を活用して、保護者からも協力が得られるよう働きかける。</p> <p>○日常の生活指導や掲示物を通して、成長過程での睡眠時間の確保の大切さを生徒に伝えていくとともに、保健だよりや学校保健委員会を活用して、保護者からも協力が得られるよう働きかける。</p> <p>○体力向上プランを周知し、様々な場面(教科体育・部活動・地域の諸行事への参加等)で体力向上を目指す場面を増やす。また、自己の体力を確認し、その伸長や改善を目指す意識の向上を図る。</p>	<p>○毎日必ず朝食をとっている生徒が80%以上。</p> <p>○週平均1日6時間以上の睡眠をとっている生徒が80%以上。</p> <p>○日常的に進んで自分の体力を向上させようとしている生徒が80%以上。</p>	<p>○毎日必ず朝食をとっている生徒は90% (-2pt)</p> <p>●週平均1日6時間以上の睡眠をとっている生徒は72% (+1pt)</p> <p>○日常的に進んで自分の体力を向上させようとしている生徒は82% (-3pt)</p>	<p>○今後も日常の生活指導や掲示物等を通して、朝食の大切さを意識できる場面を増やしていきます。</p> <p>○睡眠時間が短く、体調不良で来室した生徒へ健康相談を行い、生活改善ができるよう指導していきます。</p> <p>○体力向上プランの周知のため、学校のWebページに掲載しました。今後も周知徹底がはかれるよう、保護者や地域の方々の協力の下、体力向上を目指していきます。また、朝ランを含めた体力向上の活動を、より自主的な意識で進めていきます。</p>

評価対象	今年度の方策	今年度の具体的数値目標	成果と課題 (1回目との比較)	2学期の主な改善策
VI 安全確保・ 施設設備	<p>○登下校や学活、交通指導の中で、交通安全への意識を高め、ヘルメットをかぶるように働きかける。また、危険箇所での一時停止を呼びかける。</p> <p>○避難訓練を通して、避難における注意事項、避難経路等を確認する。</p> <p>○校外委員会のなかで、生徒同士で危険箇所の確認・周知をできるようにする。また、安全マップを各フロアに掲示し、危険箇所を常に把握できるようにする。</p> <p>○日々の校門付近や、定期テスト期間の主要な交差点等での登下校の指導を行い、交通マナーの向上を呼びかける。</p>	<p>○交通ルールを守り、ヘルメットをかぶって登下校している生徒が100%。</p> <p>○火災等の事故発生時の避難の仕方に関する知識を身に付けている生徒が80%以上。</p> <p>○自分の通学路の事故等が起こりそうな危険な箇所を知っている生徒が80%以上。</p> <p>○学校の登下校の安全指導が適切であると感じている保護者が80%以上。</p>	<p>○交通ルールを守り、ヘルメットをかぶって登下校している生徒は99%(±0pt)</p> <p>○火災等の事故発生時の避難の仕方に関する知識を身に付けている生徒は91%(−2pt)</p> <p>●自分の通学路の事故等が起こりそうな危険な箇所を知っている生徒は81%(±0pt)</p> <p>○学校の登下校の安全指導が適切であると感じている保護者は89%(±0pt)</p>	<p>○残りの1パーセントは徒歩通学等、自転車を使用していない生徒であると考えられます。ヘルメットの着用は概ね達成しています。事故防止はヘルメットの着用のみでは達成されないため、一時停止など他の事項についても普段から注意を呼びかけます。</p> <p>○避難に関する意識が高く持たれているため継続的に指導をしていきます。また、訓練の内容もよりよいものへ検討していきます。</p> <p>○校外委員会だけでは機会が限られるので、生徒玄関に掲示してある校区の危険箇所をまとめたものを掲示し、繰り返し、危険箇所の確認を呼びかけていきます。</p> <p>○引き続き、定期テストの際に計画的に立哨を行っていきます。</p>
VII 進路・ 生き方	<p>○職業調べ、職場体験学習等の啓発的体験や生き方教育講演会、立志式などの学校行事で、ワークシートを将来の夢や希望を意識できるように工夫する。</p> <p>○進路希望調査や教育相談シートを活用し、家庭での進路にかかわる話合いの場面を意図的に行い、学年通信や進路便り、キャリア教育通信により啓発する。</p>	<p>○自分の将来への夢や希望をもっている生徒が80%以上。</p> <p>○親子で進路について話し合う機会を定期的に設けている家庭が80%以上。</p>	<p>●自分の将来への夢や希望をもっている生徒は77%(−1pt)</p> <p>○親子で進路について話し合う機会を定期的に設けている家庭は83%(+3pt)</p>	<p>○1年生では、「将来、自分がどうなりたいか」を考えるために、身近な大人へのインタビューや職業調べを行います。そして、「働くとは何か」という興味をもたせます。</p> <p>○2年生では、実際に「職場体験」という実体験を通して、働くことの意義について学びます。そして、3年生への準備として上級学校調べを行い、次のステージへの意識を高めていきます。</p> <p>○3年生では、自分の将来に関わっていく進学先を考えます。その際、校風を感じるために高校の学校見学会や、学校説明会に参加するよう促します。</p> <p>○二者面談や三者面談を行い、本人・家庭が納得できる進路選択を行えるように丁寧に指導を行います。</p> <p>○進路希望調査用紙に保護者の意見欄をつくり、意図的に本人との話し合いの機会を設けます。</p>